



ロゴデザイン：後藤章

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- 支え手とのつながりを - 介護職の定着、質向上 - ……P1
- ピョンと飛躍の1年を願って
- 笑う門には福来る
- 今年も豊作
- 福祉公社の発展に貢献 - 永年勤続者を表彰 - ……P2
- 子育てパパを応援します！男性職員育休明けインタビュー
- いきいき健康地域プロジェクト～楽しく！元気に！長生き！！～
- 地域へお邪魔しました！ ……P3
- お知らせ・リレーコラム ……P4

支え手とのつながりを - 介護職の定着、質向上 -

介護・福祉人材確保の前提として必要なことは、現場で活躍する従事者たちのモチベーションアップです。地域包括ケア人材育成センターでは、介護・福祉人材の養成のみならず、継続したフォローアップについても様々な取組みを行っています。

介護職員初任者研修フォローアップミーティング

当センターの介護職員初任者研修を修了した方を対象に、年1回のミーティングを開催しています。今年度は12月12日に開催し、各年度の参加者が集いました。手元にはささやかなお菓子を並べ、季節感ある音楽を流して和やかさを演出。会の始まりには、研修時に学んだことの「振り返りクイズ」で盛り上がり、リラックスした雰囲気の中で互いに近況報告や意見交換をしました。

形にとられない福祉の目線

参加者の中には、施設の介護職から市外の簡易宿泊施設の「帳場」へ仕事を変えた方もいらっしゃいました。現状や業務内容について伺いながら福祉的支援の幅広さを共に実感しました。また、研修を経て価値観や日々の目線が変わった、という意見もありました。お互いにアドバイスを求めたり、気になることを質問し合ったりと、参加者の活発な意見交流に接する度に、就労の有無だけが人材育成の全てではないと感じます。

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター



▲ 介護職員初任者研修フォローアップミーティングの様子。青空が見える市役所会議室にて行いました。

数より質を

研修受講者の数だけでは本当の成果は測れず、研修の「その後」を検証しなければ分からないことは多くあります。そして、モチベーションアップのためには、仲間とのつながり、共感が大切です。地域福祉の質の向上をめざし、形式だけにならない取組みを今後も続けてまいります。

(地域包括ケア人材育成センター 桑谷)

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター



センターのホームページはこちら
<https://m-machigurumi.jp>

Twitter @m_jinzai



ピョンと飛躍の1年を願って

北町高齢者センター
コミュニティアサロン

1月11日、鏡開きを行いました。鏡開きとは、お正月に年神様が滞在していた「依り代」であるお餅を食べることで霊力を分けてもらい、1年の良運を願う行事です。

みずきっこの子どもたちも遊びに来て、にぎやかな時間となりました。手におたまを握りしめている子や、今年の干支にちなんでうさぎのポンチョを羽織っている子が登場し、ご利用者か

らは思わず笑顔がこぼれ歓声があがりました。子どもたちは緊張した面持ちで紙製の木槌を持ち、お餅を一生懸命たたいてくれました。最後は卯年のご利用者に餅を割っていただき、鏡開きとなりました。おやつにはお餅の代わりにさつまいもの入ったおしるこを食べ、1年の飛躍と安泰を願いました。

(北町高齢者センターコミュニティアサロン 村上)



笑門には福来たる

高齢者総合センターデイサービスセンター

年始初日から書初め、絵馬など日替わりで正月行事に挑戦しました。二人羽織の回では職員が羽織を頭から被り、汗をかきかきご利用者の手となり、マチコ巻に挑戦！大判バスタオルを頭に巻こうと試行錯誤。失敗するたびに笑いがおこり、会場からの「もっと右！」

の声援に助けられなんとか頭にタオルを巻き終えた際には、大きな拍手が沸き上がりました。新年早々笑い声で始まった今年のデイサービス。ことわざどおりに、笑いと共に幸福のやってくる幸せな一年でありますように！

(高齢者総合センターデイサービスセンター 北畠)



今年も豊作



北町高齢者センター
コミュニティアサロン

北町高齢者センターのお庭の柚子は今年も豊作でした。毎年12月にボランティアの方々により収穫が行われます。「木の内側にたくさんなっているのです」と手慣れた様子で、収穫された柚子がポンポンかごに積まれていきます。その柚子は昼食のお漬物や煮物に使用され、ご利用者やスタッフへ柚子の香りを届けてくれます。

(北町高齢者センターコミュニティアサロン 村上)



福祉公社の発展に貢献 永年勤続者を表彰



1月10日に永年勤続者の表彰を行い、7名の職員が理事長より表彰状を授与されました。

< 勤続 20年 >

高齢者総合センター兼北町高齢者センター **方波見 美穂** (所長)

< 勤続 10年 >

権利擁護センター **山保 龍太** (相談員)

高齢者総合センター管理・社会活動センター **島田 健一** (センター長)

権利擁護センター **高橋 大輔** (センター長)

ホームヘルプセンター武蔵野 **佐子 万喜子** (サービス提供責任者)

高齢者総合センターデイサービスセンター **本橋 久美子** (介護職員)

高齢者総合センターデイサービスセンター **富田 尚美** (センター長)

(総務課 鈴木)

子育てパパを応援します！

男性職員育休明けインタビュー



ホームヘルプセンター武蔵野の池田職員が、男性職員では初となる育児休業を3ヶ月取得し、この度復帰しました。育休中の生活などを聞いてみました。

◆ 仕事を休むことへの不安は？

男性初ということで、取得することで心証が悪くなるのではという不安や、育休明けに仕事のモードに戻れるかという心配がありました。しかしながら、職員の皆さんに気持ち良く送り出していたため、復帰後はしっかりとフォローして下さったため、無事、仕事に戻ることができました。

◆ 育休中の生活は？

生まれてからの1カ月は、妻の実家で育児や家事をしていました。妻は自宅で仕事をしていたこ

とや、乳腺炎で体調を崩したこともあり、私が抱っこしたりオムツを替えたりミルクをあげたり…と、子どもと接する時間は長かったと思います。自宅に戻ってからも妻が仕事でおらず、ワンオペ育児をすることもありました。ミルクを作っている途中で泣いてしまうことが多々あり、自分も授乳できたいのにと常々思っていました。

近所を散歩したり、絵本を読んだり、遊んだりと充実した時間を送ることができました。育児はまだまだ終わらないので、育休期間の終了は一つの節目として、これから新しい生活のパターンを楽しんでいけたらと思います。

◇ 三木センター長からのメッセージ

福祉公社初の男性職員の育休ということで、とても嬉しい気持ちでした。子育て経験豊富な職員達は「時代が変わったのね!」「頑張っ」と応援していました。ケアの調整は大変な面もありますが、今後も安心して育児に携われるよう職場環境やチームワークを大切にしていきたいです。

(総務課 鈴木)

いきいき健康地域プロジェクト

～楽しく!元気に!長生き!!～

武蔵野市内6カ所の在宅介護・地域包括支援センターと武蔵野市が連携し、フレイル予防に関するイベントを行います。当高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センターの担当地域では、武蔵野アトラスターズ整形外科スポーツクリニックの理学療法士による運動と、お口の健康に関する講話を行います。みなさま奮ってご参加ください!

①日時：令和5年2月27日(月) 13:30-15:00

②会場：かたらいの道市民スペース(中町1-11-16)

③定員：20名(先着順)

<事前申込・お問い合わせ先>

武蔵野市高齢者支援課 TEL:0422-60-1846

申込期日：令和5年2月24日(金)まで

できる限りお住まいの担当エリアの在宅介護・地域包括支援センターのイベントにご参加ください。詳しくは「いきいき健康地域プロジェクト 楽しく!元気に!長生き!!」のチラシをご覧ください。



講師：塩野健二先生

(高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター 宮地)



地域へお邪魔しました!

権利擁護センター



この度、ご縁があって東部福祉の会主催「暮らしの情報展～知っているとな役立つあれこれ!～」に、権利擁護センターの職員が参加いたしました。情報展では、老いじたくの話やエンディングノートの配布、簡単な事業説明をさせていただきました。エンディングノートに興味をもたれるご来場者は大変多く、今まで当センターをご存じなかった方にも知っていただく良い機会となりました。また、このようなご縁を繋いでいただいた東部福祉の会の皆様に感謝しております。

権利擁護センターは、いつでも地域へ参ります。お気軽にお声がけください。

(権利擁護センター 村山)

権利擁護センターより

講座

● 成年後見制度について

- ・ 2月24日(金)
13時30分から15時00分
@福祉公社1階会議室
- ・ 3月9日(木)
13時30分から15時00分
@福祉公社1階会議室

相談

◆ 法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日
(次回は3月14日 午後/予約制)

◆ 法律相談

(高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日
(次回は2月22日 午後/予約制)



【問合せ・申込み】
権利擁護センター
☎ 0422-27-5070



好きなものを食べるために続けたい! ~大切なお口の健康~

口腔機能の維持のために。飲み込みのチェックやお口の体操も行います!

- 【日時】令和5年2月24日(金) 13時30分~15時00分(13時15分受付開始)
 - 【場所】高齢者総合センター 3階講義室
 - 【定員】20名(申込制)
 - 【講師】山口優子(武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センター 言語聴覚士)
- 事前にお電話にてお申込みください(2月15日~申込開始)

【問合せ・申込み】 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター
☎ 0422-51-1974

受遺御礼

梅津きくゑ氏より遺贈を拝受しました。御母堂に孝養を尽くされ、一人暮らしとなつてからは、人生の杖として平成18年より福祉公社をご利用。公社への信頼厚く、令和2年に94歳の天寿を全うされました。自立と自律を堅持した生涯でした。市内の著名企業にて、仕事に興味に多彩な業績を上げたキャリアウーマンの先駆けでした。俳人(俳号香折)としては

心に染み入る追憶や心象の句を詠みました。また社会に負担をかけないように老い支度を完璧に整えました。それを受け福祉公社は葬儀、納骨等没後処理一切を担いました。ご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

除夜の星父母との距離をみじかくす香折
(成年後見利用支援センター 服部)

職員リレーコラム

挑戦しています!

総務課 新谷 まどか

あちこちで言いふらしているのですが、ご存じの方も多と思います。昨年4月に通信制の大学に入学しました。お仕事にはまったく関係のない、完全に趣味のための、京都芸術大学の陶芸コースです。

陶芸の趣味は20年以上前からで、数年前に師匠が亡くなってからは、自己流でほそぼそと続けていました。なにかで通信の陶芸コースがあることを知り、それ以来、ずっと行きたいと思って、機会をうかがっていたのです。昨年は50歳になる節目で、

人生100年時代の折り返し、満を持して願書を提出しました。

通信制ですので、普段は、作品をつくって送ったり、レポートを書いて提出したりしているのですが、年に数回は、京都で実際に授業を受けに行きます。そのときは、前後に休暇をくっつけて、神社仏閣を巡ったり、美術館や博物館に行ったりして、京都を満喫して来しています。今回は銀閣寺に行きました。

肝心の陶芸の方は、守りすぎている、失敗を恐れるな、と先生に叱咤

され、10代から80代(たぶん)の同級生と一緒に楽しく学んでいます。好きなことをやらせてもらって、これからの人生ワクワクしかありません。家族、職場の皆さんには感謝、感謝です。



▲ ろくろ成型

◀ 銀閣寺

次回は



高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター 上田 令子

福祉公社 各部署のご案内



<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
<https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野
<https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

- 総務課 ☎ 0422-23-1165
- 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
- 成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
- 生活自立支援センター(三蔵サテライト) ☎ 0422-66-2801
- ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
- ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
- 地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター

武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

- コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
- 子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター

武蔵野市緑町2-4-1

- 管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
- 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
- デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

ぼんやりする時間が頭の中の情報を整理すると聞いて、最近はそのような時間を意識している。考えてみると、どこに行くにもスマートフォンが一緒に、移動中、休憩中、さらには、テレビを観ながらSNSをチェックするほどである。ぼんやり…が継続できたら、羅針盤の良いアイデアが生まれる、かもしれません。

(権利擁護センター 村山)

